

富士山がもつ普遍的価値の多面性

富士山学の頂へ

To the top of Fujinology

令和2年(2020年)

3月14日(土)~15日(日)

参加無料

※要事前申込み
お申し込みは下記お問い合わせ先
にお電話ください。

会場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」11階 会議ホール「風」

“富士山学”の基礎となる「活火山 富士山」に焦点をあて、それらの最新の研究成果を広く紹介します。また、激しい噴火を繰り返してきた「荒ぶる山」である富士山の成り立ちとその容姿が、富士山の「信仰」と「芸術」を含む、日本の歴史・文化の深化や発展にどのように寄与したかについて紹介します。

3月14日(土)

日英
同時通訳
あり

オープニング・レクチャー | 9:30~10:20

欧州の火山遺産と富士山

Opening Lecture
Volcanic heritages in Europe and Mt. Fuji

専門セッション1 | 10:20~12:45

活火山 富士山を取り巻く大地の成り立ち

Professional Session no.1
Volcanic and Environmental geology around Mt. Fuji

専門セッション2 | 13:45~16:30

富士山をめぐる宗教テキスト学と図像学

Professional Session no.2
Cultural Textology and Iconography affected by Mt. Fuji

3月15日(日)

日英
同時通訳
あり

専門セッション3 | 9:30~11:50

時知らぬ山 一時空を越える富士山

Professional Session no.3
Mt. Fuji depicted by historical landscape

シンポジウム | 13:15~16:20

富士山がもつ普遍的価値の多面性

Specialty symposium
The multifaceted universal value of Mt. Fuji

■問題提起 ロナルド・トビ(イリノイ大学名誉教授)
富士山学への提言

●講演① 町田 洋(東京都立大学名誉教授)
建設と破壊を反復してきた富士山

●講演② 宮家 準(慶應義塾大学名誉教授)
日本人のアイデンティティとしての富士山
~バイロン・エアハート著『富士山』によせて

●講演③ タイモン・スクリーチ(ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院教授)
江戸の景観における富士山

●パネル・ディスカッション
松島 仁(静岡県富士山世界遺産センター教授)
ロナルド・トビ(イリノイ大学名誉教授)
静岡県富士山世界遺産センターの“富士山学”が目指すもの

主催

静岡県

静岡県富士山
世界遺産センター

ふじのくに
地球環境史
ミュージアム

お問い合わせ・参加お申込み

静岡県富士山世界遺産センター

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

TEL.0544-21-3776 FAX.0544-23-6800 <https://mtfuji-whc.jp>